

第17回 日本国際文化学会 全国大会 「共通論題」採択

- ① 文化触変論の適用可能性と理論的拡張の試み—アフリカ、東南アジア、21世紀
代表者：馬場孝 静岡文化芸術大学文化政策学部教授
- ② 共通論題 日欧比較文化再考（使用言語：日本語）
代表者：松居竜五 龍谷大学国際学部教授
- ③ グローバル化する原爆の記憶とその諸相—「ヒロシマ・ナガサキ」の形式と展開
代表者：根本雅也 日本学術振興会特別研究員 PD/立命館大学衣笠総合研究機構
プロジェクト研究員
- ④ 日本への留学生と彼らのその後—中国・韓国・台湾の比較の観点から
代表者：加藤恵美 早稲田大学現代政治経済研究所、次席研究員
- ⑤ スポーツと国民意識の形成——明治神宮競技大会、東亜競技大会、1940年の
東京五輪を手がかりに（仮題）
代表者：鈴木裕輔 現職：法政大学国際日本学研究所客員学術研究員
- ⑥ 「二重排除」を生きる「弱者」たち — 女性・高齢者をめぐる「排除」の
文化・社会的構造の分析 —
代表者：相原 征代 岐阜大学男女共同参画推進室 特任助教

なお、発表者打診中など、題目など（仮）のものもありますため、ここではその仮のタイトルおよび代表者のみを掲載させていただきます。